



在宅療養を考えるつどい

～ おひとりさまでも

最期を自宅で迎えられるか ～

最期の日まで、あなたはどうやって過ごしていきたいですか。

三浦市では、高齢者が介護が必要な状態になっても人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

在宅療養についての理解を深め、そのために必要な準備など一緒に考えてみませんか。是非多数の方のご来場をお待ちしています。



講師：上野 千鶴子氏
(撮影：菅野勝男)

日時 2月12日(日)

13時30分～16時

(開場 13時予定)

場所 三浦市民ホール(うらり2階)

基調講演講師

上野 千鶴子氏

(社会学者・東京大学名誉教授。)

著書『おひとりさまの最期』他)

その他、在宅療養を支える方々によるパネルディスカッションを開催します。

入場無料・申込不要、先着300人、手話通訳・要約筆記あり。

ご来場の際には、なるべく公共交通機関をご利用ください。

(駐車場は近隣の有料駐車場のご利用になります。)

問合せ 三浦市 高齢介護課 電話882-1111(内線363・364)

・主催：三浦市 ・共催：三浦市医師会・神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター



プログラム

主催者あいさつ

三浦市長 吉田 英男

基調講演

テーマ：～おひとりさまでも最期を自宅で迎えられるか～

講師：上野 千鶴子 さん

【講師プロフィール】

社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授（社会学）、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護問題にも関わっている。

休憩

パネルディスカッション

テーマ：～おひとりさまでも最期を自宅で迎えられるか～

パネリスト：藁谷 収 さん

（医師・神奈川みなみ医療生活協同組合 三浦診療所院長）

松本 好史 さん

（歯科医師・横須賀市歯科医師会会長・松本歯科医院院長）

中村 政芳 さん

（薬剤師・神奈川県薬剤師会三浦支部、シフトみさき薬局）

草間 理子 さん

（看護師・せいれい訪問看護ステーション油壺所長）

青木 芳隆 さん

（介護支援専門員・三浦ケアマネジャー連絡会会長・
ケアセンター南下浦 羊の家けあまね）

コメンテーター：上野 千鶴子 さん

コーディネーター：小枝 恵美子 さん

（神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター所長）

閉会あいさつ

三浦市医師会 飯島 康司 会長